

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成25年4月11日 (2013.4.11)

【公表番号】特表2008-505342(P2008-505342A)

【公表日】平成20年2月21日 (2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2007-520351(P2007-520351)

【国際特許分類】

G 0 1 N 21/01 (2006.01)

G 0 1 N 21/27 (2006.01)

G 0 1 N 21/35 (2006.01)

A 6 1 B 5/08 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/01 D

G 0 1 N 21/27 Z

G 0 1 N 21/35 Z

A 6 1 B 5/08

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年2月20日 (2013.2.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

経時変動する周期的な電圧信号を赤外線放射源に加える過程と、

該電圧信号の媒介変数を測定する過程と、

該電圧信号を調整して、赤外線放射源に供給される電力をほぼ一定に保持する過程とを含み、

前記電圧信号の調整は、前記測定された媒介変数、及び、生産又は製造工程時に実行される較正手順において確立された、前記電圧信号の前記測定された媒介変数と赤外線放射源の抵抗値との間の既定の関係式に基づいて行われる、

赤外線放射源からの赤外線出力を調整する方法。

【請求項 2】

前記電圧信号は、単極性又は両極性の電圧パルスである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記電圧信号の媒介変数は、振幅値である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記電圧信号の調整は電圧パルス幅の調整を含む請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

100%未満のデューティサイクルを有する電圧パルスを赤外線放射源に加える過程と

、
電圧パルスの第 1 の媒介変数を測定する過程と、

前記電圧パルスを赤外線放射源に加える過程により得られる赤外線放射源を流れる電流の第 2 の媒介変数を測定する過程と、

該赤外線放射源に供給されるほぼ一定の電力を保持する過程であり、前記第 1 の媒介変数、前記第 2 の媒介変数、及び、生産又は製造工程時に実行される較正手順において確立

された、該電圧パルスの前記測定された第1の媒介変数と該赤外線放射源の抵抗値との間の既定の関係式に基づいて、電圧パルスを調整する過程と、を含む、
赤外線放射源からの赤外線出力を調整する方法。

【請求項6】

前記電圧パルスは、単極性又は両極性の電圧パルスである請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記電圧パルスの媒介変数は、振幅値である請求項5に記載の方法。

【請求項8】

前記電圧パルスの調整は電圧パルス幅の調整を含む請求項5に記載の方法。

【請求項9】

赤外線放射源と、

該赤外線放射源を流れる電流を測定するために、該赤外線放射源に接続された電流センサと、

該赤外線放射源に印加される電圧を測定するために、該赤外線放射源に接続された電圧センサと、

該赤外線放射源に電氣的パルスを加えて、該赤外線放射源にほぼ一定の電力を供給する供給手段とを備え、

前記電氣的パルスの調整は、前記測定された媒介変数、及び、生産又は製造工程時に実行される較正手順において確立された、前記電氣的パルスの前記測定された媒介変数と赤外線放射源の抵抗値との間の既定の関係式に基づいて行われる、

赤外線パルス発生装置。

【請求項10】

前記赤外線放射源は、赤外線放射性の電氣抵抗材料を備える請求項9に記載の装置。

【請求項11】

前記電氣的パルスを印加する供給手段は、単極性の電源電圧を含む請求項9に記載の装置。

【請求項12】

前記電圧センサは、単極性の電源電圧を測定する請求項11に記載の装置。

【請求項13】

前記電氣的パルスを印加する供給手段は、両極性の電源電圧を含む請求項9に記載の装置。

【請求項14】

前記電圧センサは、両極性の電源電圧を測定する請求項13に記載の装置。

【請求項15】

前記電流センサは、検出抵抗と、検出抵抗に印加される電圧を測定する測定回路とを備える請求項9に記載の装置。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

生産／製造工程において、各赤外線放射源について、抵抗値とパルス幅の関係式を確立するための較正手順が実行され、主流気体検出装置の動作中における後の使用のために、上記関係式に係る主要な媒介変数が保管される。図8は、赤外線放射源28の若干異なる特性とパルス幅の演算値とを有する2つのセンサを示す。線300及び線302は、それぞれ第1のセンサ及び第2のセンサを示す。